

ネズミノオ (鼠の尾)

名前の意味：穂^{いみほ}の形が、ネズミの尾のように長いから。

分類：単子葉類、イネ科、ネズミノオ属

(イネ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ原産

特徴：1カ所から斜^{なな}めにV^{くき}ち上がる茎、広がらない棒^{ぼう}状^ほの穂

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離^{りべん}弁 (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：7－9月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：ネズミムギとは、小花が小さいことで区別できる。ナギナタガヤには、長いノギ^{はり}(針のような毛)がある。

見つけやすさ ★★★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)